

令和5(2023)年度 年間授業計画				
教科・科目		家庭 保育		2 単位
対象学年・組		3年生		必修選択
教科書(出版社)		子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う 教育図書		
学習目標【観点別】		<p>子どもの発達と保育・福祉について理解させるとともに、発達を支える養育者の役割及び保育の重要性について認識する。</p> <p>子ども文化の歴史を知り、子どもの遊びや文学について学ぶ。</p> <p>子どものおもちゃ作りや、折り紙などの伝統遊びの演習を深めることで、子どもの生活の一端を体感する。</p>		
学期	予定時数	単元 具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準
1	前半	12 子どもの保育	保育の意義と目標 保育の方法 保育の環境	保育の意義と必要性を理解し、まとめられるようにする。様々な保育方法を理解するとともにニュース等現代社会における保育について関心をもつ。子どもの生活の様子、集団保育の実態を体験する。
	後半	12 子どもの福祉と子育て支援	子どもの福祉 子育て支援	子どもが適切な環境の中で成長していくために必要な、社会支援の仕組みを調べ、ニュース等と関連付けてまとめられるようにする。絵本の重要性を考え、読み聞かせができるようになる。
2	前半	14 子どもの発達と特性	生涯発達における乳幼児期の重要性 発達と環境 発達観・児童観とは	資料を使いながら乳幼児期の発達を理解し、その重要性に対する認識を深める。幼児の遊びを通して、発達段階の理解や保育者としての技能を身につける。
	後半	14 子どもの生活	子どもの健康と生活 子どもの食事 子どもの衣服	乳幼児の生活の特徴を知り、発達段階に応じた適切な保育について考え、まとめられるようにする。子どもの生活の様子、集団保育の実態を把握する。保育者に必要な技能を身につける。
3	18	子どもの生活 まとめ	子どもの遊びと生活 子どもの健康管理	様々な種類の遊びの特徴、意義について理解する。場面に応じた遊びや児童文化財の選択に興味をもち、実践する。子どもの健康管理の意義と方法、社会的支援について考える。年間の学習を振り返りまとめる。
評価の観点(評価基準)	子どもの発達、生活の特性・特徴を理解し、自分なりの考え方ができるか。子どもをとりまく環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解しているか。児童文化財を製作する中で、子どもの発達の姿を理解できるか。			
評価の方法	定期考査・作品や提出物などの課題・授業への取り組む姿勢等を総合的に判断し、評価する。			
学習の手引き	子ども・保育に関する新聞記事を年間を通じて読む。折り紙やあやとり、童話や映像から保育者としての資質を磨く。教科書に書かれている保育に関する基本的な施策について読みまとめる。子どもの目線で生活のあらゆる場面を観察する。			
授業担当者	市川ひとみ			